



そもそも私がM家に迎えられることになったのは、お父さんが子供たちにせがまれてというよりも、お父さんが自分の「メタボ解消」を目的とした散歩のお供として選ばれたというのが正しい理由のようですが、初期の目的は達成されていないようです。スリムな体型のダルメシアンが第一候補だったのですが、子供たちの賛意を得られずラブラドルレトリバーの私がM家に迎えられることとなりました。

私たち犬族はあっという間（約1年間）に大人になってしまうのですが、その間、我が家の子供たちとその友達たちに毎日のようにいじりまわされているうちに、私は人間大好きな「ワン」になることが出来ました。反対に子犬の頃に他の犬たちと触れ合う機会が少なかったせいなのか、挨拶程度はできますが今でも犬たちと遊ぶことは苦手です。性格形成は先天的な部分もありますが、私たちにとっては幼年期の社会化が特に大事であることは間違いないようです。

M家にきて最初の頃は、散歩のお供や庭に張ったネットの中でのボールやフリスビー遊びをしていましたが、広い場所でリードをはずして思いっきり遊ぶ私の姿を見てみたくなったお父さんは、犬を放しても誰にも迷惑をかけずに済むようなドッグランを造る事を思い立ちました。私が3歳の時に造りはじめたドッグランは5歳の時に何とか完成したのですが、皮肉なことに私が心臓病の診断を受け「過激な運動は控えるように」との獣医師の先生の指示もあり11歳になった今ではランの中では「ひねもすのたりのたりかな」程度の運動量です。そんな私でもお父さんと山の中を歩き回る時には足取りもしっかりして、時には走り回ることも出来るぐらいなので、皆さんにも「ラブちゃんは山に入ると生き生きして楽しそうだね、年の割りに若いよねっ…」その言葉が今は一番うれしいです。山のおいしい空気が私を若返りさせてくれているようです。（M）